

2023 年度学童保育指導員研修新任研修レポート

第 1 講義 『学童保育とは-歴史と役割、学童保育指導員の倫理』

第 2 講義 『健康・安全・衛生-1-子どもの受け入れ、健康管理-』

第 3 講義 『一日の仕事・打ち合わせ・記録-』

第 4 講義 『緊急時の対応・日々の安全と緊急時の対応-』

第 5 講義 『健康・安全・衛生-2-衛生管理・食品管理等日々の衛生-』

第 6 講義 『保護者との関係・地域関係機関との連携・保育の役割を果たすために-』

【クラブ】（ あおぞらクラブ ） 【名 前】（ 高見澤真奈 ）

全 6 回の講義で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

今回、研修を受けて学童保育指導員の仕事の大切さを改めて知ることができました。

子どもが安心・安全に尚且つ豊かに過ごし、保護者の方も安心して任せられる場所として今回様々な研修を受け、具体的なお話を聞き、特に印象的だったのが子ども同士のトラブルについて。私は学童に勤め出して約 4 か月程ですが、多いと感じたのが子ども同士のトラブルでした。些細なことがきっかけで片方の子が泣いてもう一人の子はとても怒っていて、その際私は 2 人からどのような状況でどうなったのか互いから話を聞き、互いに「ごめんね」と言い合えるようにそのような形をとっておりましたが、講師の方の実際にあった子ども同士のトラブルの対応についてですが、互いの意見を聞きだすまでは同じですがそこから謝り合う方向ではなく「その時の気持ちはどうだったの？」などまずは互いの気持ちを吐き出してそこから互いに話し合える方向にしていくのも 1 つの方法と知りました。

指導者は採点者ではなく、橋渡しの役目だと。講師の方もこの実例がすべてに対応できるわけではないのでその場に合わせた対応も必要だと仰っておりましたが、新たな子どもへの接し方として一つ学ぶことができました。

また、子どもたちが学童に帰ってきた際にいつもと変わらぬ表情かどうかを見抜く観察力も大切だと改めて思いました。これは大人にも当てはまると思いますが、人はその日の体調や何かトラブル等があった時に顔に出ると思います。性格が内気な子の場合、言いたいことが言えなかったりする場合もあると思うのでよく子どもの顔や言動を見て迅速に対応します。

最後の研修で保護者の方との関係についてですが、私はまだ現在、保護者の方たちと接する機会が少ないのですが、今後保護者の方と接する際はその日の子どもの様子をなるべく具体的にお伝えしたりなど、保護者の方の不安が和らぐようにいろいろとお話をできるようにします。

その他の研修でも様々な基礎知識を学び、衛生管理、おやつ、緊急時の対応、出欠についてなど大変参考になりました。日々大切なお子さんたちお預かりをしているので、自身に知識が増え、よりよい環境づくりに活かしこれらで学んだことを実践し日々精進していきます。